## 調查,分析 Reserch,Analysis

背景 Background

クライアント企業の作業形体は7つの部署に分 かれており、現在は伝票を部署から部署へ渡す 事により業務を行っている。つまり紙媒体の伝 票と特記事項を記した作業指示書により部署間 の連携を取っている。しかし現行のシステムで は、紙を紛失する、作業変更がわかりにくい、 過去の伝票を探す事が出来ないなどの不具合が 生じており、伝票と作業指示書の伝達システム の見直しが必要とされている。そこで、問題解 決と作業の効率化を行なうためのシステムを開 発する事になった。

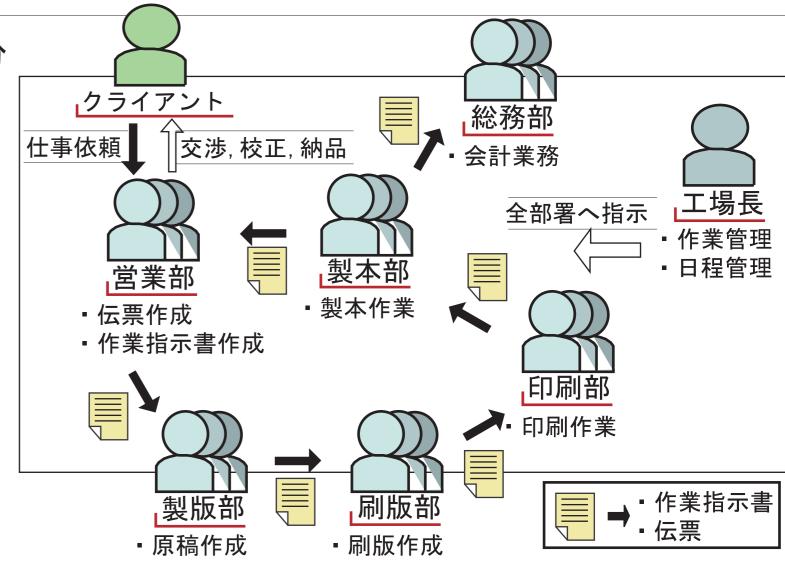


Fig. 1 業務モデル Operating model

The work form of a client company is divided into seven posts. And working is performed by the assembly

line now. In there, the chit of paper and The work directions document wrote direction of work connect between there posts, and make work smooth. However, A problem has arises in the present system, and The improvement of the transfer system of a chit and a work directions document is needed. Then, we will develop a new system in order to increase the efficiency of work and solution there problems.

現行システムの問題点と、新しいシステムへの要求点を把握するために、調査を行ない分析 を進め、要求から機能への対応表(table.2)を作成した。

We investigated and advanced analysis, In order to grasp the problem of the present system, and the requiring point of a new system. And we created the correspondence table to the function from demand.(Table.2)

Table. 2 要求分析から機能への対応表(簡易版) The correspondence table to the function from demand analysis

要求分析	機能への対応	機能の概要
a, 過去の伝票をすぐ探せるようにしたい	伝票検索・進行状況参照	検索条件を指定することにより過去に作成された 全伝票から絞り込みを行ない、参照できる。
b, 仕事の進行状況を確認したい	進行状況の更新・伝票検索・進行状況参照	各部署で進行状況をコンピュータに入力し、伝票 の内容と共に業務の進行状況が確認できる。
c, 伝票管理を徹底したい	新規伝票作成・伝票内容変更	システムに伝票情報を登録できる。入力すると瞬時にシステムに反映し、変更項目も入力可能。
d, 検索機能が欲しい	伝票検索・進行状況参照	伝票を参照する際、クライアント名、キーワード 等を元に、伝票検索ができる。
e, 伝票や伝票項目の追加をしたい	*要望に沿って項目の拡張を行なう	

上記の要求とシステムの機能の分析 を元に、開発するシステムは7つのファ クタと3つのユースケースで構成できる ことがわかり、ユースケース図(fig.2) を作成した。

We understood that the system to develop can consist of seven factors and three use cases. It is origin about analysis of demand and the function of a system. And we created the use case figure (fig.2).

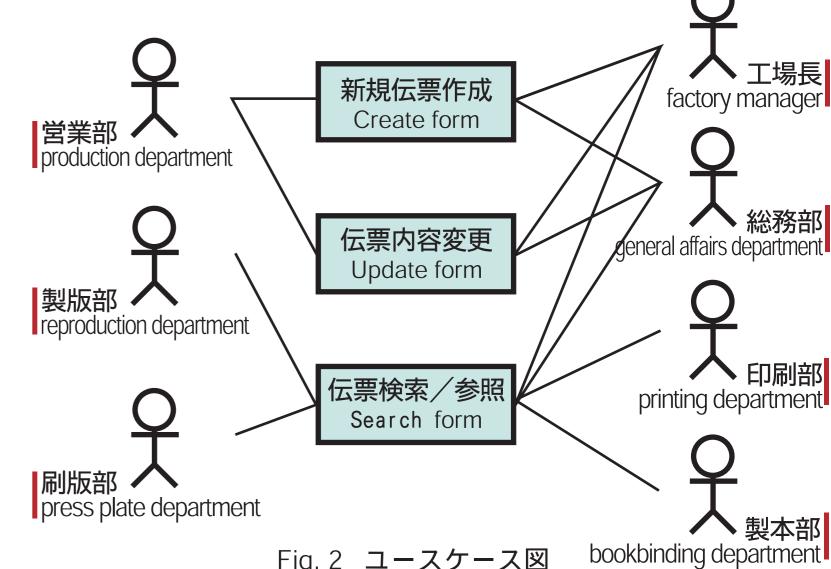


Fig. 2 ユースケース図

分析資料を元にシステム設計を行 い、システムを利用するユーザーの 操作手順を明確にするため画面フロ

We performed the system design based on analysis data. And we created the screen flow diagram(Fig. 3) In order to clarify a user's operation procedure. And we created the class diagram. of system, too.

-図(Fig. 3)を作成した。また、シ

ステムのクラス図も作成した。



